

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	23	学校名	大垣東高等学校
------	----	-----	---------

学校教育目標 (教育方針)	社会のリーダーを目指すにふさわしい人間を育てる。 (1) 学問を尊ぶ気風を培い、高い学力を身に付けさせる。 (2) 文化を尊重し、部活動や学校行事等への主体的な取組を通して、豊かな人間性を身に付けさせる。 (3) 生活規律を確立させる。		
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校段階の確かな学力を身に付け、更なる高い志をもち、自らが設定した目標の達成のために粘り強く努力することができる生徒 ・ 日本文化への深い造詣と地球規模の広い視野をもち、他者への共感とともに多様な価値観や考えを受け入れ、協働して課題を設定し、その解決に取り組むことができる生徒 ・ 真善美という崇高な理想を掲げ、人格の陶冶をめざして生涯にわたって学び続けることができる生徒 	
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力の定着を徹底し、自ら考え、判断し、表現できる力を高めるための指導及び個に応じたきめ細かい支援の実施 ・ 自己肯定感を育むとともに、適切かつ時宜を得た課題の提示と働きかけに基づいた、生徒が主体性を発揮するための教育活動の展開 ・ 人間探究を基礎とした、様々な分野の研究を通して、世界中の人たちと共に主体的で対話的な深い学びを実践する中で、コミュニケーション力や洞察力、創造力、挑戦力等を育むための課題解決型の学習の推進 	
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来に対する高い目標をもち、進路実現に向けて授業を大切にするとともに、部活動・生徒会活動・学校行事等にも積極的に参加しようという意欲のある生徒 ・ 善悪を正しく判断し、規則を守ることができるとともに、自他の命や権利を大切に、仲間と支え合いながら豊かな人間関係を構築しようとする意欲のある生徒 ・ 「世界をよりよくしたい」という大きな信念を抱き、様々な社会課題に対する興味・関心をもち、自ら課題を見つけて最後まで取り組む意欲のある生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開授業、ICTの職員研修会の意義を全職員が意識し、生徒が主体的に活動でき、それが学習の理解に繋がる授業改善が必要である。 ・ 正しい進路情報を的確に伝え、様々な情報から自らにとって価値ある情報を生徒自身が見極められる指導が必要である。 ・ 元気よく気持ちの良い挨拶ができず、上手にコミュニケーションをとることができない生徒がいる。 ・ 交通ルールを遵守した自転車運転ができない生徒が存在し、交通事故が起こる原因にもなっている。 ・ 大人しい生徒が多く、積極的にリーダーシップが取れる生徒が減少しつつある。 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生としての基礎的・基本的な知識や技能の習得を図り、主体的な学習態度を育成する。 ・ 思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲を高め、学ぶことの意義を理解し、学びの喜びが感じられる授業改善に取り組む。 	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の生徒がキャリア教育等を通じた進路希望を実現できるよう指導に努める。 ・ 自己を正しく理解し、自らの在り方生き方を考え、主体的に進路選択・決定ができるよう様々な機会を捉え推し進める。 	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な倫理観や規範意識を醸成し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を図る。 ・ 自他の生命の尊さや権利を認め合い、一人一人が生きがいをもち、心豊かな学校生活を送れるよう支援する。 	
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動、部活動等の活発化・充実化を推進し、帰属意識の高揚に努める。 ・ 社会の一員として自主的、実践的な態度を育て、自己を生かす能力を養う。 	

年度目標				年度末評価(自己評価)				
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興基本計画での 位置付け		達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	①授業改善を積極的に推進し、分かりやすい授業の実施に努める。	23	施策IV-23	(1)公開授業の実施率と授業参観率の結果 (2)多目的教室の利用率の結果 (3)生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 (4)理数科課題研究報告会を通じた外部からの評価				
	②生徒の多目的教室(自習室)の積極的な活用、チャレンジ講座等の放課後・土曜日の補習授業の充実を図る。	8	施策II-8					
	③理数科では、科学的な思考力、創造力を社会に還元できるような豊かな人間性と実行力をもった生徒を育成する。	11	施策II-11					
進路指導	①スタディサブリの活用推進とチャレンジ講座等の補習授業の充実を図る。	23	施策IV-23	(1)生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 (2)保護者等を対象とする授業アンケートの結果 (3)理数科課題研究報告会を通じた外部からの評価				
	②3年間を見通した進路シラバスを提示し、ホームルーム活動と総合的な探究の時間を連携させた計画的、組織的な指導を実践する。	8	施策II-8					
	③生徒一人ひとりが自ら考え納得できる進路選択ができるよう、担任を中心にあらゆる場面や機会を活かし、きめ細やかな懇談を実施する。	8	施策II-8					
	④理数科では、課題研究等の学びや経験を活かした進路選択ができるよう、計画的かつ緻密な懇談を実施する。	10	施策II-10					
生徒指導	①命を考える講話や、心に響く一行詩の掲示などの機会を通じて他者を思いやり、社会性を育む心を育てる。	1	施策I-1	(1)諸活動の実施状況 (2)生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 (3)様々な場面における迅速な対応状況				
	②制服規定の見直しをすることにより、生徒が自ら判断して着こなすことにより多様性を認め合い、他者を尊重する心を育む。	2	施策I-2					
	③年4回の個別面談と諸調査の分析を教員間で共有することを通じて、いじめの未然防止と不登校の早期対応、早期解決を図る。	3	施策I-3					
	④MSリーダーズと育友会が共同で交通安全・挨拶運動を実施し、交通マナーの向上と交通事故防止を図る。	19	施策III-19					
特別活動	①生徒会活動を活発化し、学校行事等を自主的に企画・運営する。	20	施策IV-20	(1)各行事の、職員、生徒及び参加された保護者へのアンケートの結果 (2)生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 (3)外部諸団体、学校関係者から寄せられた声				
	②ホームルーム活動・部活動において、集団生活への適応を図るとともに、人間関係の醸成、集団における協力の態度を育てる。	25	施策IV-25					
	③ボランティア活動など地域の活動に積極的に参加を促し、思いやる心、進んで奉仕する心を養い、心豊かな生徒の育成に努める。	1	施策I-1					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日